

令和4年度
(2022年度)

事業報告書

及び

計算書類・財産目録

社会福祉法人 大阪狭山市社会福祉協議会

目 次

令和4年度

1. 事業報告書	・ ・ ・	1
2. 計算関係書類		
(1) 法人全体		
・ 資金収支計算書	・ ・ ・	5 7
・ 事業活動計算書	・ ・ ・	5 9
・ 貸借対照表	・ ・ ・	6 1
・ 計算書類に対する注記	・ ・ ・	6 2
(2) 社会福祉事業		
・ 社会福祉事業区分 資金収支内訳表	・ ・ ・	6 5
・ 社会福祉事業区分 事業活動内訳表	・ ・ ・	6 7
・ 社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表	・ ・ ・	6 9
(3) 拠点区分計		
・ 社協事業拠点区分 資金収支計算書	・ ・ ・	7 0
・ 社協事業拠点区分 資金収支明細書	・ ・ ・	7 6
・ 社協事業拠点区分 事業活動計算書	・ ・ ・	8 2
・ 社協事業拠点区分 事業活動明細書	・ ・ ・	8 8
・ 社協事業拠点区分 貸借対照表	・ ・ ・	9 3
・ 計算書類に対する注記	・ ・ ・	9 4
・ 高齢者事業拠点区分 資金収支計算書	・ ・ ・	9 6
・ 高齢者事業拠点区分 資金収支明細書	・ ・ ・	1 0 2
・ 高齢者事業拠点区分 事業活動計算書	・ ・ ・	1 0 8
・ 高齢者事業拠点区分 事業活動明細書	・ ・ ・	1 1 4
・ 高齢者事業拠点区分 貸借対照表	・ ・ ・	1 1 9
・ 計算書類に対する注記	・ ・ ・	1 2 0
・ 障がい者事業拠点区分 資金収支計算書	・ ・ ・	1 2 2
・ 障がい者事業拠点区分 資金収支明細書	・ ・ ・	1 2 8
・ 障がい者事業拠点区分 事業活動計算書	・ ・ ・	1 3 4
・ 障がい者事業拠点区分 事業活動明細書	・ ・ ・	1 4 0
・ 障がい者事業拠点区分 貸借対照表	・ ・ ・	1 4 5
・ 計算書類に対する注記	・ ・ ・	1 4 6
3. 財産目録	・ ・ ・	1 4 8

令和4年度 大阪狭山市社会福祉協議会事業報告書

1. 会議及び研修等

【1】理事会

第1回理事会 令和4年5月26日（木）

1. 顧問の委嘱について
2. 令和3年度事業報告及び決算並びに監査報告について
3. 令和4年度補正予算（案）について
4. 職員給与規程の一部を改正する規程について
5. 理事選任候補者の推薦について
6. 評議員選任候補者の推薦について
7. 評議員選任・解任委員会の開催について
8. 定時評議員会の開催について

第2回理事会 令和4年8月31日（水）

1. 令和4年度第1次補正予算の訂正について
2. 令和4年度第2次補正予算（案）について
3. 各種委員会の委員の承認について
4. 評議員選任候補者の推薦について
5. 評議員選任・解任委員会の開催について
6. 評議員会の開催について

第3回理事会 令和4年11月16日（水）

1. 会長の選任について

第4回理事会 令和5年3月15日（水）

1. 令和4年度第3次補正予算について
2. 令和5年度事業計画及び予算書（案）について
3. 理事選任候補者の推薦について
4. 評議員会の開催について
5. 役員等賠償責任保険の契約について

【2】評議員会

第1回評議員会 令和4年6月11日（土）

1. 議事録署名人について
2. 令和3年度事業報告及び決算並びに監査報告について
3. 令和4年度補正予算（案）について
4. 職員給与規程の一部を改正する規程について
5. 役員（理事）の選任について

第2回評議員会 ※書面審議（令和4年10月6日）

1. 令和4年度第1次補正予算の訂正について
2. 令和4年度第2次補正予算（案）について

第3回評議員会 令和5年3月25日（土）

1. 議事録署名人について
2. 令和4年度第3次補正予算について
3. 令和5年度事業計画及び予算書（案）について
4. 役員（理事）の選任について

【3】評議員選任・解任委員会

第1回評議員選任・解任委員会 令和4年5月26日（木）

1. 評議員の選任について

第2回評議員選任・解任委員会 令和4年9月9日（金）

1. 評議員の選任について

【4】監査

（1）令和3年度監査

実施日：令和3年5月19日（木）

（2）令和4年度中間監査（上半期分）

実施日：令和3年11月30日（水）

【5】諸会議

- （1）地区福祉委員会委員長連絡会
- （2）善意銀行運営委員会
- （3）広報委員会

【6】大阪府社協並びにブロック会議参加

- （1）市町村社協連合会会長・事務局長合同会議
- （2）河南ブロック社協連絡会

【7】研修会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。

2. 事業

【1】大阪狭山市地域福祉活動計画の推進

大阪狭山市と大阪狭山市社会福祉協議会が一体的に策定した、「第4次大阪狭山市地域福祉計画・大阪狭山市地域福祉活動計画」に基づき、地域福祉の推進を図った。

【2】地区福祉委員会活動への支援

社会福祉協議会の内部組織である9つの地区福祉委員会が推進する地域福祉活動の実施について支援を行った。また、支援において新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、感染リスクの高い多人数が集まる事業等については開催を見合わせた。

- (1) 地区福祉委員会への支援
- (2) 地区福祉委員会の活動助成
- (3) 地域福祉活動実施計画の策定支援及び計画に基づく活動支援
- (4) 小地域ネットワーク活動新任研修会の実施

【3】小地域ネットワーク活動推進事業

地域のひとり暮らし高齢者、障がい者、子育て中の親子など、支援を必要とする人が安心・安全に生活できるよう、各地区福祉委員会が中心となって、地域住民が主体的に実践する、支え合い・助け合い活動の推進を図った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を中止及び活動内容を変更して実施した支部もあった。

(1) 見守り訪問活動

住民による住民相互の見守り活動として、おおむね65歳以上のひとり暮らしの人や要援護者に対し、見守りや声かけ、話し相手、簡単な用事の手伝いなど、日常生活の中で出来る範囲の活動を行い、住民同士のつながりを深めた。

地区名	支部名	ボランティア登録数	ひとり暮らし		その他		合計	
			対象者	延訪問数	対象者	延訪問数	対象者	延訪問数
狭山地区	狭山コーポ	8人	10人	811回	0人	0回	10人	811回
半田地区	金剛1丁目	15人	6人	241回	0人	0回	6人	241回
	川向	15人	7人	286回	0人	0回	7人	286回
茱萸木地区	茱萸木	31人	5人	59回	8人	75回	13人	134回

南第一地区	ニュータウン	22人	8人	296回	5人	180回	13人	476回
南第二地区	大野台1丁目	17人	4人	62回	0人	0回	4人	62回
	大野台3丁目	39人	29人	1,326回	0人	0回	29人	1,326回
	大野台4丁目	16人	38人	2,052回	0人	0回	38人	2,052回
	大野台5・6丁目	27人	50人	1,488回	1人	51回	51人	1,539回
	大野台7丁目北	5人	2人	163回	0人	0回	2人	163回
合 計 5地区10支部		195人	159人	6,784回	14人	306回	173人	7,090回
(前年度) 5地区10支部		189人	169人	6,838回	16人	204回	185人	7,042回

(2) 食事サービス

おおむね65歳以上のひとり暮らしの人及び70歳以上の高齢者のみの世帯、重度の心身障がい者世帯に対し、配食や会食会を通して地域住民同士の交流、食生活の維持向上を支援した。

新型コロナウイルスの感染状況に応じて、会食から配食に切り替えて実施した支部もあった。

	地区名	支部名	開始時期	対象者(登録)数	実施回数	延べ食数
配 食	西地区	岩室	H22/4	24人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	半田地区	金剛1丁目	H11/12	36人	12回	409食
	南第二地区	大野台3丁目	H28/4	66人	12回	546食
		大野台4丁目	H28/4	63人	3回	68食
	小計①	3地区3支部		/	189人	27回
(前年度) 4地区4支部				199人	25回	576食

	地区名	支部名	開始時期	対象者(登録)数	実施回数	延べ食数
会 食	東地区	東野大鳥池	H25/5	16人	24回	301食
	狭山地区	狭山コーポ	H8/7	21人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
		遊園ハイツ	H25/6	27人	11回	230食
	西池地区	自由丘	H10/9	27人	7回	147食
		池尻	H13/2	29人	1回	13食
		南海狭山住宅	H30/11	41人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
西地区	藤和さやまハイタウン	H29/9	33人	1回	33食	

会	半田地区	南海金剛住宅	H12/6	26人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
		金剛1丁目	H11/12	36人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため配食	
		川向	H14/4	50人	6回	149食
	茱萸木地区	茱萸木	H12/3	13人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
	南第一地区	ニュータウン	H12/6	51人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
		府営北	H11/11	42人	1回	32食
	南第二地区	大野台3丁目	H28/4	66人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため配食	
		大野台4丁目	H9/10	63人	6回	180食
		大野台5・6丁目	H15/3	36人	5回	133食
		大野台7丁目	H15/1	25人	13回	120食
南第三地区	府営南	H11/12	33人	12回	337食	
	公団	H11/12	33人	10回	137食	
小計②	8地区12支部		668人	97回	1,812食	
(前年度)	5地区8支部		703人	60回	1,061食	
食	合計①+②	8地区12支部		※692人	124回	2,835食
	(前年度)	6地区10支部		※761人	85回	1,637食

※配食・会食の重複者を除く

(3) サロン活動

人と人とのつながりの希薄化が言われる中、高齢者や障がい者の方、子育て中の親子などが、地域での孤立を防ぎ、コミュニケーションを築くために、地区集会所など身近な場所で地域住民やボランティアと協働で交流できる居場所を提供した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためサロン活動を中止及び活動内容を変更して実施した支部もあった。

<高齢者サロン>

地区名	支部名	実施回数	延参加人数	延ボランティア数	主な内容
東地区	東野	5回	136人	40人	喫茶
	東池尻	19回	308人	143人	喫茶、体操、クイズ、昔話、わなげ、頭の体操、福祉ゲームの会、スピーチ
	東野 大鳥池	51回	308人	62人	ラジオ体操、歌合唱、喫茶、頭の体操、喫茶ちょべりば、クリスマス会

狭山地区	狭山 コーポ	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	狭山中	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	遊園ハイツ	20回	361人	150人	ボッチャ、茶話会、タブレットの使い方、会食会、脳トレ、体操、ビンゴ大会、手芸
	レークハイツ	10回	91人	23人	いきいきサロン茶話会、食事会、クリスマス会、カレー作り
	グラントハイツ	15回	154人	30人	茶話会、食事会、クリスマス会、百歳体操
西池地区	自由丘	7回	147人	42人	サウルハープとオカリナ、三線、日舞、マジック、よさこい、腹話術、のぶ8（演奏）
	池尻	2回	22人	20人	紙芝居、カラオケ、体操
	南海狭山住宅	42回	432人	113人	いきいき百歳体操、口腔機能・全身・体幹トレーニング、おしゃべりサロン
西地区	岩室	1回	11人	4人	茶話会
	山伏	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	口大野	2回	66人	8人	茶話会、敬老の日の集い
	藤和さやま ハイタウン	3回	193人	19人	会食会、書き初め大会、イルミネーション点灯式
	下今熊 狭山台	6回	41人	35人	茶話会、ビデオ鑑賞会、クリスマス会
	緑ヶ丘	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
半田地区	南海金剛住宅	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	金剛1丁目	23回	205人	79人	健康体操、詩吟
	半田東村	95回	494人	0人	いきいき百歳体操、グラウンドゴルフ、コーヒーサロン
	川向	24回	335人	69人	グラウンドゴルフ、地区交流茶話会（朝市）、カラオケ
	前田	20回	150人	57人	いきいき体操
	北村	29回	276人	87人	いきいき百歳体操、カラオケ、脳トレ、リズムトレ

半田地区	浦之庄	70回	672人	140人	グラウンドゴルフ
	ライオンズ マンション金剛	11回	61人	54人	制作活動、マジックショー、健康体操、ミニ運動会、防災についてのお話
茱萸木地区	茱萸木	1回	12人	32人	サロン参加者にお菓子を配布
南第一地区	ニュータウン	24回	779人	116人	歌声サロン、すずかけ喫茶、100歳体操
	桜ヶ丘	1回	18人	3人	認知症講習会
	ガーデンハイム	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	府営北	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	ティオフェルティ	11回	76人	22人	ゆるりカフェ
南第二地区	大野台 1丁目	26回	109人	160人	みなくるカフェ、ウォーキング、ガーデニング、麻雀
	大野台 3丁目	24回	720人	380人	お家サロン(脳トレなどの本を提供)、自治会館での弁当配布時の交流
	大野台 4丁目	57回	831人	101人	囲碁、麻雀、パソコン、食事会
	大野台 5・6丁目	14回	541人	61人	いきいき百歳体操、津軽三味線、ビンゴ、マジックショー、フレイル予防、LINE講座、寄せ植え、カルタ遊び、演奏と歌
	大野台 7丁目	5回	41人	10人	映画鑑賞
	大野台 7丁目北	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
	大野	274回	2,209人	481人	グラウンドゴルフ、茶話会、ゲートボール、親子交流会
南第三地区	府営南	11回	307人	136人	交流会、百歳体操、茶話会、合唱、津軽三味線、マジック、腹話術、日本民謡、ギターアンサンブル
	公団	10回	137人	104人	茶話会
	グリーンコーポ 狭山	1回	6人	0人	茶話会
計 9地区33支部		914回	10,249人	2,781人	
(前年度)9地区27支部		606回	6,020人	1,456人	

<子育てサロン>

地区名	支部名	実施回数	延参加人数	延ボランティア数	主 な 内 容
東地区	東野	11回	128人	20人	交流会、子育て講座、室内遊び、リス園遠足、クリスマス会、お別れ会
	東池尻	11回	265人	26人	交流会、絵本ライブ、歌遊び、制作、ハロウィンゲーム、リトミック、クリスマス会、お別れ会
狭山地区	狭山西	11回	73人	9人	子育て講座、交流会、ハロウィン、クリスマス会、豆まき、お別れ会
西池地区	自由丘	14回	170人	15人	運動会、交流会、水あそび、講座、ハロウィン、クリスマス、リトミック、歌、絵本、スクラップキング、お別れ会
	池尻	38回	244人	39人	本貸し出し、読み聞かせ、おしゃべり、クリスマス会、折り紙、紙ひこうき、制作(カード・ブーツ)
半田地区	川向	12回	137人	9人	交流会、七夕制作、親子体操、リトミック、おもちゃ遊び、遠足、クリスマス制作、子育て講座・クリスマス、お別れ会
計 4地区6支部		97回	1,017人	118人	
(前年度)4地区6支部		61回	837人	115人	

(4) グループ援助活動支援

小地域ネットワーク活動のグループ援助活動(ふれあい会食サービス、サロン活動)を安心して行ってもらえるよう行事保険に加入した。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、活動を自粛した支部が多かったが、徐々に活動を再開した支部が増えたことで、保険加入数が増加した。

<高齢者サロン>

地区名	支部名	回数(回)	人数(人)	地区名	支部名	回数(回)	人数(人)
東地区	東野	2	70	半田地区	川向	6	180
	東池尻	19	740		前田	16	320
	東野大鳥池	76	1,540		浦之庄	89	1,780
狭山地区	遊園ハイツ	20	400		ライオンズマンション金剛	11	275
	レークハイツ	3	60	南第一地区	桜ヶ丘住宅	1	20
西池地区	自由丘	8	217		ディオフェルティ	11	220
	池尻	1	25	南第二地区	大野台1丁目	22	440
	南海狭山住宅	41	820		大野台4丁目	53	1,220
西地区	岩室	1	20		大野台5・6丁目	8	245
	口大野	1	20	大野台7丁目	44	880	

西地区	下今熊狭山台	6	120	南第三地区	府宮南	11	425
	藤和さやまハイタウン	1	33		公団	7	210
半田地区	金剛1丁目	23	460	計 9地区25支部		481	10,740

※(前年度) 8地区20支部 333回 7,306人

<子育てサロン>

地区名	支部名	回数(回)	人数(人)	地区名	支部名	回数(回)	数(人)
東地区	東野	2	40	西池地区	自由丘	11	220
	東池尻	11	220		池尻	6	120
狭山地区	狭山西	11	440	半田地区	川向	10	400
計 4地区6支部						51	1,440

※(前年度) 4地区6支部 47回 1,280人

(5) ボランティア活動支援

小地域ネットワーク活動に携わるボランティアに対し、ボランティア保険に加入した。

<高齢者サロン>

(単位：人)

地区名	支部名	ボランティア数	地区名	支部名	ボランティア数
東地区	東野	15	半田地区	川向	45
	東池尻	17		北村	7
	東野大鳥池	6		前田	5
狭山地区	狭山コーポ	13		浦之庄	2
	狭山中	6		ライオンズマンション金剛	8
	狭山西	0	茱萸木地区	茱萸木	31
	遊園ハイツ	8	南第一地区	ニュータウン	22
	レークハイツ	6		桜ヶ丘	11
	グランドハイツ	2		ガーデンハイム	0
西池地区	自由丘	7		府宮北	18
西池地区	池尻	13	ディオフェルティ	2	
	南海狭山住宅	5	南第二地区	大野台1丁目	17
	西地区	岩室		5	大野台3丁目
山伏		0		大野台4丁目	24

西地区	口大野	6	南第二地区	大野台5・6丁目	27
	藤和さやまハイタウン	25		大野台7丁目	9
	下今熊狭山台	8		大野台7丁目北	5
	緑ヶ丘	0		大野	12
半田地区	南海金剛住宅	25	南第三地区	府営南	10
	金剛1丁目	15		公団	24
	半田東村	10		グリーンコーポ狭山	8
				計 9地区38支部	518

※(前年度) 9地区39支部 570人

<子育てサロン> (単位：人)

地区名	支部名	ボランティア数
東地区	東池尻	12
狭山地区	狭山西	2
西池地区	池尻	2
計 3地区3支部		16

※(前年度) 3地区3支部 16人

(6) 目くばり気くばり思いやり運動

ひとり暮らし、ねたきり高齢者を対象に、老人クラブのメンバーによる友愛訪問として声かけ等の安否確認を行った。

対象者数：ひとり暮らし、ねたきり高齢者 186人
※(前年度) 233人

友愛訪問者数：13単位老人クラブ 164人
※(前年度) 14単位老人クラブ 173人

(単位：回)

項目	声かけ	不在	話し相手	軽微な用件	計
ひとり暮らしの人	3,954	228	1,766	501	6,449
ねたきりの人	0	0	0	0	0
計	3,954	228	1,766	501	6,449
(前年度)	5,934	408	2,016	782	9,140

(7) ウイズコロナポストコロナに対応した地域活動モデルの開発

大阪府福祉基金地域福祉振興助成金を活用し、地域福祉活動を支える担い手（ボランティア）や人と人とのつながりを求める住民に対し、ICTによる新たな地域の「つながり」づくりの推進を図った。

① ICTを推進する人材育成を目的とした養成講座

○1回目「初心者でも大丈夫！Zoomの使い方講座」

実施日：令和4年7月14日（木）、26日（火）

場 所：さやま荘

内 容：Zoomの使い方、地域福祉活動での活用方法など

参加者：延べ13名 ※講師含む

○2回目「オンラインでおしゃべりしてみようZoom編とLINE編」

実施日：令和4年11月29日（火）、30日（水）

場 所：さやま荘

内 容：ZoomとLINEの使い方、地域福祉活動での活用方法など

参加者：10名 ※講師含む

②Zoomの使い方講座フォローアップ研修

講座受講者（昨年度も含む）を対象にしたフォローアップ講座として「ならなれの集い」を開催、受講者の更なる実践の場を提供した。

○実施日：令和4年8月3日（水）、8日（月）、16日（火）

場 所：各自宅等

内 容：「習うより慣れろ」をテーマにした参加者の実践と交流

参加者：延べ16名

【4】権利擁護センター事業(日常生活自立支援事業)

認知症、知的障がい、精神障がい等により、判断能力にハンディキャップのある人に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行うことにより、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう支援した。

対 象 区 分	認知症	知的	精 神	その他	計
	高齢者	障がい者	障がい者		
利 用 者 数(人)	2 (4)	8 (9)	22 (21)	0 (0)	32 (34)
新規契約件数(件)	0 (1)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (3)
終 了 件 数(件)	2 (2)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	3 (4)
相談援助件数(件)	72 (138)	170 (164)	779 (653)	1 (20)	1,022 (975)
利用者活動件数(件)	29 (68)	161 (157)	535 (513)	0 (0)	725 (738)
契約前活動件数(件)	7 (4)	0 (0)	4 (11)	0 (6)	11 (21)

※()内は前年度実績

【5】成年後見制度利用促進事業

認知症、知的、精神障がい等により判断能力が十分でない方が、成年後見制度を円滑に利用できるよう支援を行うとともに、本人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう成年後見制度の利用促進を図った。

また、制度に関する広報啓発を行うとともに、相談体制、関係機関との連携体制の構築に努めた。

(1) 相談支援

来所、訪問、電話などの手段により本人、家族、ケアマネジャー、地域包括支援センター、医療機関を中心に新規相談があり、サービス事業所職員、専門職の協力を得て、相談支援を行った。

○対象者数：33人 / 延べ相談対応件数：564件

	新規	継続	計	(前年度)
法定後見相談	25	0	25	-
うち) 審判確定者	4	0	4	-
うち) 申立書類提出済み	2	0	2	-
うち) 申立準備中	10	0	10	-
うち) 相談のみ	9	0	9	-
任意後見相談	8	0	8	-
うち) 任意後見契約締結数	0	0	0	-
うち) 契約準備中	3	0	3	-
うち) 相談のみ	5	0	5	-

(2) 会議関係

円滑な制度利用及び後見人の支援を図るため、大阪狭山市高齢介護グループや大阪家庭裁判所堺支部後見センターと協議を行うとともに、地域包括支援センター、基幹相談支援センターなどの関係機関と個別支援にかかる連携を行うなど、相談体制、連携体制の構築の足がかりとした。

○開催回数：20回 / 延べ参加者数：118人

(3) 普及・啓発活動

成年後見制度利用促進のチラシを公共施設や金融機関での啓発を依頼するとともに、新たに成年後見制度だけでなく日常生活自立支援事業や相談機関を記載した権利擁護支援センター紹介チラシを作成した。

また、制度理解を広めるため、成年後見制度に関する市民向け講演会を開催した。

○市民向け講演会「成年後見制度を知る」

日 時：令和5年1月26日（木）午後2時～4時
 場 所：大阪狭山市文化会館（SAYAKAホール） 2階 大会議室
 対 象：大阪狭山市在住・在勤の方、福祉関係事業所職員
 内 容：成年後見制度の内容と後見人の役割
 法定後見制度と任意後見制度について
 講 師：大阪弁護士会 高齢者・障害者総合支援センター
 「ひまわり」弁護士 小谷 真由香 氏
 参加者：26人

【6】ヒューマン・ケア事業

日常生活上、家事等に支障をきたす高齢者や障がい者(児)、父子、母子世帯等に有料で協力会員を派遣し、在宅福祉の向上を図った。

利用会員登録者数： 80人 ※(前年度 59人)

協力会員登録者数： 49人 ※(前年度 38人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
派遣回数(回)	51	47	70	66	58	71
派遣時間(時間)	57	52.5	88.5	79.5	66	89.5

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	(前年度)
派遣回数(回)	72	79	44	24	51	50	683	702
派遣時間(時間)	83.5	83.5	88.5	60	62.5	62	873	805

【7】福祉協力校事業

市内の小・中・高等学校を福祉協力校に指定し、福祉教育・学習機会の提供と体験交流活動を推進した。また、福祉の心を育む機会を拡充するとともに、学童、生徒を通じて家庭及び地域社会に福祉に関する啓発を図った。

指 定 校	主 な 事 業 内 容
北小学校	1. 学校美化活動 2. 栽培緑化活動 3. 手話体験 4. 車いす体験 5. アイマスク体験 6. 募金活動(赤い羽根) 7. 児童会行事北子どもまつり 8. 認知症声かけ訓練(5・6年) 9. あいさつ運動
東小学校	1. あいさつ運動 2. 縦割り班活動 3. 生活委員会による「友だちのええとこ見つけ活動」 4. アイマスク・車いす体験 5. 募金活動(赤い羽根) 6. 校内および地域清掃 7. PTA美化活動 8. 児童会による全校行事(クイズラリー)

西小学校	1. 地域コミュニティスクール 2. 募金活動(緑の羽根、赤い羽根) 3. 縦割り交流(わくわく祭り) 4. 支援学級交流会 5. あいさつ運動 6. 平和教育「西小学校と戦争」聞き取り学習 7. 昔遊び体験(1年) 8. 昔のくらし聞き取り学習(3年) 9. 地域の方と奉仕作業(6年) 10. 車いす体験・アイマスク体験(5年) 11. 田植え体験(5年) 12. 防災聞き取り学習(4年)
南第一 小学校	1. 募金活動(赤い羽根) 2. 縦割り学習 3. 車いす体験・アイマスク体験(4年) 4. 学校美化作業 5. 点字学習 6. 異学年交流 7. 認知症声かけ訓練(6年) 8. 校内環境整備活動(6年生) 9. 栽培活動 10. 環境学習(4年生) 11. 支援学級担任による啓発授業
南第二 小学校	1. 募金活動(赤い羽根) 2. 校内クリーン作戦 3. クラブ・委員会活動(4・5・6年) 4. 米づくり(5年) 5. 地域のバス停にプランター設置 6. 地域の福祉施設とオンライン交流 7. 大野ぶどうづくり(3年)
南第三 小学校	1. 募金活動(緑の羽根、赤い羽根) 2. なかよし交流 3. 障がい者理解教育 4. 花の植え替え 5. 学校美化活動 6. 学校周り清掃活動(PTA、地域) 7. こども園との交流、共同避難訓練 8. 縄跳び交流(全学年) 9. 卒業生奉仕作業 10. 地域の方々と給食交流会 11. 支援学級との交流 12. 認知症理解 13. 緊急下校の引き渡し共同訓練 14. 手話、点字の学習、盲導犬の学習 15. 古紙、プルトップ、インクカートリッジのリサイクル活動 16. 三小フレンドパーク
第七小学校	1. 募金活動(緑の羽根、赤い羽根) 2. 「心を感じる講演会」の実施 3. 環境整備・栽培活動 4. 花壇整備 5. 車椅子体験 6. 絵本の読み聞かせ 7. 地域清掃「みんなの地域清掃」 8. 田植え体験・稲刈り体験 9. 芋ほり・もちつき体験 10. 保育園児学校見学
南中学校	1. 募金活動(赤い羽根) 2. ボッチャ・車いすアメフト体験学習 3. 学校周辺の清掃活動 4. 手話体験学習 5. 点字体験学習 6. 命の授業講演会 7. 防災学習講演会 8. 平和学習 9. 部落問題学習 10. 国際理解学習 11. LGBT講話 12. 障がい者理解学習 13. 職業講話、保育実習
狭山中学校	1. 人権学習の充実、人権作文への応募 2. 地域の防災学習 3. 募金活動(赤い羽根) 4. ともに学びともに育つ教育(障がい者理解体験学習) 5. 平和学習 6. 校区内清掃活動 7. 近隣地域とのふれあい活動へ参加(あいさつ運動・交通安全指導など) 8. LGBT講話 9. 命の事業(性教育含む) 10. 部落問題学習 11. 日本文化・多文化共生学習 12. SNS講習会 13. ボッチャ体験学習 14. がん教育 15. 職業講話
第三中学校	1. 募金活動(赤い羽根) 2. 三中校区一斉美化活動へ参加 3. 障がい理解学習 4. クリーンアップ作戦 5. 花いっぱい運動 6. 情報モラル講演会 7. LGBT学習 8. 部落問題学習 9. 多文化理解学習(2・3年) 10. 進路選択学習 11. 防災学習 12. 男女共生学習
狭山高等学 校	1. 募金活動(赤い羽根) 2. 生活文化授業(手話講習) 3. クリーンアクションへの参加 4. 障がい者理解授業(車いす体験) 5. 保健関係指導に係る用具の整備

※(前年度) 7小学校、3中学校、1高等学校

【8】ひとり暮らし老人会食会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、配食で実施したり、また中止するなど、状況に応じて対応した。なお、令和4年12月からは、コロナ禍以前のようにボランティアグループの調理した料理の提供による会食会が実施できるようになった。

また、食事の前に口腔体操にてオーラルフレイルを予防したり、簡単な体操にて運動不足の解消に取り組んだ。

実施日：月2回（第1班…概ね第1火曜日、第2班…概ね第3火曜日）

実施回数：①配食…4回（各班2回）

実施月…4月、5月

②会食…17回（各班8回、合同会食会1回）

実施月…6月、7月、9月、10月、11月、12月、
1月、2月、3月

対象者：市内に身寄りのない65歳以上のひとり暮らしの人

登録者数：53名（令和5年3月31日現在）

食数：延べ409食

※(前年度) 年24回実施 登録者51名 延べ449食

【9】救急医療情報キット配布事業

ひとり暮らし高齢者や障がい者等の自宅での不慮の事故など、緊急時に迅速な救命活動に資するため「大阪狭山救急医療情報キット」を製作・配布し、高齢者や障がい者等の安心と安全の確保に努めた。

(単位：個)

配布対象者	昨年度までの配布数	今年度配布数	配布数
65歳以上のひとり暮らしの世帯	1,807	64	1,871
65歳以上の高齢者だけの世帯	259	11	270
日中や夜間に65歳以上でひとりになる世帯	55	0	55
日中や夜間に65歳以上の高齢者だけになる世帯	47	0	47
障がい者手帳を保持している人	68	1	69
特定疾患医療受給者証を保持している人	14	0	14
その他	3	0	3
計	2,253	76	2,329

【10】 ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談や情報提供、登録、仲介、連絡調整を行うとともに、ボランティアの人材育成や活動を支援し、ボランティア活動の推進を図った。

(1) 登録者数

35グループ 558人

個人登録 44人

※(前年度) 36グループ 526人 個人登録 41人

(2) 啓発宣伝

おおさかさやまボランティアだよりの発行（年3回発行・全戸配布）

第105号：6月1日、第106号：10月1日、第107号：2月1日

※(前年度) 3回発行

(3) 会 議

①ボランティアグループ連絡会 総会

②ボランティアグループ連絡会 定例会（毎月第3金曜日）

③ボランティアグループ連絡会 役員会

(4) 需給調整

①相談受付内容別件数

(単位：件)

内 容	相 談 先			
	件 数	個 人	ボランティア グループ	団 体 その他
活動希望	13	10	2	1
派遣依頼	50	7	0	43
会場・機材の貸し出し	37	0	36	1
情報提供など	150	36	79	35
計	250	53	117	80
(前年度)	189	41	90	58

②派遣依頼内容別件数

(単位：件)

依頼内容	依 頼 先							計
	社協	行政 公的機関	学校	施設 病院	団体 関係機関	自治会 住民組織	個人	
イベント・行事協力	2	1	0	5	1	11	0	20
一時保育	0	0	0	0	0	0	0	0
外出介助・傾聴・自助具	0	1	0	2	0	0	2	5
点訳・朗読・手話通訳	0	0	0	0	6	0	2	8
その他(講師等)	1	1	11	1	0	1	2	17
計	3	3	11	8	7	12	6	50
(前年度)	3	1	10	4	3	6	3	30

(5) ボランティア養成講座

市民のボランティア活動への関心を高めるため、各種講座を開催し、ボランティア活動へ参加するきっかけをつくり、また、ボランティアの人材発掘と育成を行った。

① ボランティアジュニアスクール

市内の小学生を対象に、子どもたちが自主的、主体的なボランティア活動に取り組めるよう、グループ活動を通してコミュニケーション能力の向上と、ボランティア活動の楽しさを感じてもらうことを目的に実施した。

○夏のボランティアジュニアスクール

実施日：令和4年11月23日（祝・水）

場 所：福祉センターさやま荘、さつき荘

内 容：小学生対象のボランティア体験講座。さやま荘、さつき荘等を周りながら、福祉やボランティア、SDGsについて学ぶ、ボランティア体験講座を行った。

参加者：16人

協力ボランティア：25人

○春のボランティアジュニアスクール

※中止

② ごちゃまぜ縁日（1回開催）

市内の小学生を対象に、子どもたちの人へ対する思いやりの心を育み、様々な人と出会い多様性を学ぶきっかけづくりを目的にボランティア体験や交流会を実施した。（公民館共催事業）

実施日：令和4年7月23日（土）

場 所：公民館

内 容：小学生を対象としたボランティア体験・交流会。主に市内で活動する団体の会員と交流を図りながら、ボランティア体験やワークショップを行った。

参加者（子ども）：7人

参加団体協力者：27人

③ 車いす体験でボラチャレ（ボランティア体験講座）

学生を対象にしたボランティア講座を開催し、車いす体験フィールドワークや当事者の話を聞き、地域活動やボランティア活動に関心を持ってもらえるように社会参加を促した。

実施日：令和4年12月20日（火）

講 師：ほっこり仲間の会 会員4名

場 所：大阪府立狭山高等学校、周辺地域

受講者：20人

協力ボランティア：4人

④手話ボランティア養成講座

手話ボランティア活動に必要な知識、技術を習得するとともに、聴覚障がい者への理解、認識を深めた。

実施日：令和4年4月12日～令和5年2月14日
毎週火曜日（全42回）

講師：片桐 多鶴子 氏

補助講師：前田 育子 氏・子安 由美 氏

場所：公民館 講習室

受講者：12人

※(前年度) 受講者15人（コロナ禍による部屋の人数制限で定員削減）

⑤手話奉仕員レベルアップ講座

手話通訳奉仕員養成講座修了程度の知識、技術の習得者に対して、さらなる基礎力の強化を図る講座を実施し、受講者のスキルアップと地域の聴覚障がい者等の自立と社会参加を促進した。

実施日：令和4年8月24日～10月26日
毎週水曜日（全10回）

講師：中塚 智雄氏、時岡 滋樹 氏

場所：公民館 集会室1

受講者：10人

※(前年度) 受講者18人

(6) ボランティア交流会

ボランティア活動に取り組む方やボランティアに関心のある方を対象に、気軽に交流、情報交換をすることができる交流会を開催し、ボランティア活動のネットワーク構築を図った。

実施日：令和5年3月10日(金)

場所：公民館 調理実習室

内容：コーヒーの美味しい淹れ方講座、ボランティア講義、
交流、情報交換

参加者：20人

※(前年度) 参加者13人

(7) ボランティア活動支援助成

大阪狭山市ボランティアセンターに所属するボランティアグループに対し、ボランティア活動の振興と啓発、育成を目的に助成した。

①ボランティア保険金の助成 579人（前年度 350人）

②ボランティア活動の助成 6件（前年度 5件）

(8) 出前福祉体験事業

大阪狭山市における福祉教育を推進するために、主に小・中・高校生を対象に、体験や交流を通じて社会福祉に対する理解を深めるための各種福祉教育プログラムを実施した。

(単位：件)

内 容	実施先				
	件 数	小学校	中学校	高等学校	その他
車いす体験	5	4	0	0	1
アイマスク体験	4	3	0	0	1
手話体験	6	1	1	4	0
点字体験	1	1	0	0	0
福祉講話	6	1	1	4	0
計	22	10	2	8	2
(前年度)	22	11	3	8	0

【11】 災害ボランティアネット運営事業

大阪狭山市内の各種団体、NPO、企業、学校等を構成団体に、平常時から顔の見える関係づくりを目的に、防災減災に関する取り組みを行った。

(1) 会 議

①検討会議

実施日：令和4年6月21日(火)

場 所：市役所南館 市民活動支援センター

内 容：

- ・令和4年度 災害ボランティアネット定例会について
- ・本年度事業について
- ・その他

参加者：5人

②定例会

実施日：令和4年10月24日(月)

場 所：コミュニティセンター 大会議室

(Zoom参加を含めたハイブリッド型の会議を実施)

内 容：

- ・委員長、副委員長の選任について
- ・令和4年度 災害ボランティアネットの進め方について
- ・意見交換・グループワーク
- ・その他

参加者：27人

(2) 事業

①災害ボランティア講座

実施日：令和5年3月26日(日)

場 所：福祉センターさやま荘 大広間

内 容：災害ボランティア入門講座「災害ボランティアについて知ろう！」

講 師：松井 康祐 氏

参加者：28人

②災害ボランティアセンター図上訓練

実施日：令和5年3月26日（日）

場 所：福祉センターさやま荘 大広間

内 容：大規模災害時、大阪狭山市社会福祉協議会が設置し、支援団体等と協働によって運営される災害ボランティアセンターの役割の推進に向けて、図上訓練を実施し、住まいや周辺地域に潜むリスクの可視化、避難経路や避難場所などの確認、災害対応や事前対策の検討等を行った。

講 師：松井 康祐 氏

参加者：24人

③個人ボランティア登録

登録者数：47人（令和5年3月31日現在）

（前年度）43人

【12】社協“collect(コレクト)”事業

身近なボランティア活動として、また、限りある資源のリサイクル活動として、使用済み携帯電話や入れ歯、小型家電、インクカートリッジ、書き損じハガキ、各種プリペイドカード（テレホンカード等）の回収を行い、収益金を地域福祉事業を進める費用の一部として活用した。

回収ボックスは、市内10カ所の小中学校及び市役所、公民館、コミュニティセンター、さやま荘等に設置した。

【13】広報啓発事業

(1) 大阪狭山市社協だよりの発行（年3回発行・全戸配布）

第105号：6月1日、第106号：10月1日、第107号：2月1日

(2) ホームページ、Facebook、YouTubeの運用

実施事業の詳細を伝えられるように、各種事業や地区福祉委員会活動をFacebookへ投稿し、ホームページの内容について適時見直しを行うなど、常に最新の情報を提供するように努めた。また、新しくYouTubeを活用し、動画による情報の提供に取り組んだ。

【14】生活福祉資金貸付事業（大阪府生活福祉資金）

低所得者、障がい者、高齢者世帯、及び失業や減収等を原因として生計の維持が困難となった世帯に対し、一時的な経済的支援として低利で必要な資金の貸付、生活再建のための継続的な相談支援を行い、世帯の自立を支援した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業した世帯に対する貸付制度「新型コロナウイルス感染症特例貸付」の申請受付を行った。

①資金種類別相談件数

(単位：件)

資金種類	電話相談	窓口相談	計	(前年度)
福祉資金	32	32	64	37
緊急小口資金	8	3	11	3
総合支援資金	0	0	0	2
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0
不動産担保型福祉資金	0	1	1	1
新型コロナウイルス特例貸付	73	62	135	1,572
計	113	98	211	1,615

②資金種類別貸付件数および貸付額

資金種類	件数	貸付額	備考
福祉資金	10件	4,213,000円	福祉資金1件
緊急小口資金	1件	100,000円	
総合支援資金	0件	0円	
臨時特例つなぎ資金	0件	0円	
新型コロナウイルス特例貸付 緊急小口資金 総合支援資金 総合支援資金再貸付	38件 32件 0件	7,250,000円 18,600,000円 0円	
計	81件	30,163,000円	

※(前年度)

- ・福祉資金 4件 822,000円
- ・小口生活資金 0件 0円
- ・総合支援資金 0件 0円
- ・臨時特例つなぎ資金 0件 0円

新型コロナウイルス特例貸付

- ・緊急小口資金 184件 36,200,000円
- ・総合支援資金 183件 112,050,000円
- ・総合支援資金再貸付 234件 129,750,000円

合計 605件 278,822,000円

- ・要保護向け不動産担保型生活福祉資金 0件

【15】新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業

緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を終了した世帯や、再貸付が不承認とされた困窮世帯の生計維持者に対し、自立支援金申請書類及び求職活動書類の受付業務を行った。

①相談件数 (単位：延べ件数)

	電話相談	窓口相談	計
相談件数	119	60	179
(前年度)	227	76	303

②支給件数および支給額

区 分	件 数	支 給 額	備 考
生活困窮者自立支援(初回)	38件	8,500,000円	
〃 (再支給)	29件	8,280,000円	
計	67件	16,780,000円	

※前年度 初回 39件 8,140,000円 再支給21件 3,240,000円

【16】緊急小口資金等の特例貸付の借受人へのフォローアップ支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付を借り受けた世帯で、生活困窮等の支援が引き続き必要とする世帯へ、償還猶予手続き等のフォローアップ支援を行った。

①相談件数 (単位：延べ件数)

対 応 項 目	件数
個々の状況に配慮した償還猶予等の案内(償還免除対象外の借受人)	32
償還免除申請に未応答の借受人へのフォローアップ支援	14
計	46

②申請受付件数 (単位：件数)

区 分	件数
償還猶予申請	7
少額返済申請	0
計	7

【17】 各種団体への支援

民生委員・児童委員協議会及び関係福祉団体等の事務局として、業務の円滑化を図るとともに、関係福祉団体の活動を支援した。

[関係福祉団体]

- ・老人クラブ連合会
- ・身体障害者福祉協議会
- ・母子寡婦福祉会
- ・遺族会
- ・知的障がい者(児)あんずの会（本人会）
- ・介護者家族の会「たまゆら」

[その他関係団体]

- ・社会福祉施設連絡会
- ・日中活動事業所連絡会

【18】 福祉と人権に関する課題への取り組み

人権意識の向上を図るため、福祉と人権の諸問題について、大阪狭山市人権協会や大阪狭山市企業人権協議会の他、関係団体主催の研修会や講演会（オンライン）に参加した。

3. 受託事業

【1】心配ごと相談事業

市民の日常生活における身近な悩みごとや相談に応じ、必要により社会資源を効果的に活用し、適切な助言及び指導、関係機関につなぐなど社会福祉の増進を図った。

相談員：25人

相談日時：第一・第三月曜日（開催延日数24日） 午後1時～4時

相談延件数：0件

相談利用者延数	0人(昨年度2人)																			
相談事項	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計
	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健・衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障がい者(児)福祉	母子福祉・父子福祉	老人福祉	苦情	その他	
相談延件数(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(前年度)	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

【2】寝具乾燥サービス事業

自宅での寝具の乾燥が困難な要介護高齢者や障がい者に対し、寝具の乾燥サービスを行い、健康保持と生活環境の向上を図った。

	利用者数 (人)	枚数 (枚)	(内 訳)	
			布団丸洗い乾燥	毛布丸洗い乾燥
上期	7	42	21	21
下期	6	36	18	18
計	13	78	39	39

※(前年度) 利用者11人 66枚

【3】訪問理美容サービス事業

理美容店の利用が困難な要介護高齢者や重度の心身障がい者に対し、訪問による理美容サービスを行い、保健衛生の向上とその家族の介護の軽減を図った。

登録者数：22人

(単位：人)

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
利用者数	14	15	15	11	55

※(前年度) 登録者20人 延べ利用者56人

【4】福祉機器貸出事業

市民に対し、車いすやギャジベッド等の介護機器の貸し出しを行い、家族の介護の軽減など在宅福祉の推進を図った。

また、車いす体験等に取り組んでいる市内の学校や地区福祉委員会等へ貸し出しを行い、福祉教育の推進及び福祉委員の資質向上等に寄与した。

対象		福祉機器	車いす (台)	ベッド (台)	その他	
個人	高齢者		49	0		
	身体障がい者		10	0		
	その他(ケガ等)		17	0		
団体	学校(7校)		81	0	アイマスク 白杖	… 17個 … 0本
	地区福祉委員会		10	0	アイマスク 白杖 車いす模擬体験コース シニア体験装具	… 8個 … 3本 … 1セット … 6セット
	その他		9	0	シニア体験装具	… 3セット
計			176	0	アイマスク 白杖 車いす模擬体験コース シニア体験装具	… 25個 … 3本 … 1セット … 9セット

※(前年度)

- ・車いす 123台 ・アイマスク 100個 ・白杖 3本 ・点字版 0枚
- ・車いす模擬体験コース 0セット

【5】コミュニティソーシャルワーカー設置事業
(狭山中学校区・第三中学校区・南中学校区)

高齢者や障がい者、ひとり親家庭など、何らかの支援を必要とする人への個別相談活動を通して、必要なサービスや制度を紹介し利用を促し、支援に関わる団体や関係機関と連絡、調整を行い、ネットワークづくりを推進した。

(1) 個別相談活動

【延べ件数】

相談対象者	狭山中学校区	第三中学校区	南中学校区	合計件数
高齢者に関すること	424人	162人	466人	1,052人
・(うち)ひとり暮らし高齢者	(283人)	(66人)	(403人)	(752人)
・(うち)高齢者のみの世帯	(83人)	(80人)	(20人)	(183人)
・(うち)上記以外	(58人)	(16人)	(43人)	(117人)
障がい者に関すること	407人	94人	176人	677人
・(うち)身体障がい者	(30人)	(22人)	(0人)	(52人)
・(うち)知的障がい者	(0人)	(5人)	(0人)	(5人)
・(うち)精神障がい者	(377人)	(67人)	(176人)	(620人)
その他	674人	384人	216人	1,274人
計	1,505人	640人	858人	3,003人

※(前年度) 2,502人

相談内容	狭山中学校区	第三中学校区	南中学校区	合計件数
福祉制度・サービスに関すること	553件	159件	399件	1,111件
生活に関すること	869件	293件	569件	1,731件
健康・医療に関すること	614件	134件	550件	1,298件
生活費に関すること	284件	153件	264件	701件
就労に関すること	264件	94件	95件	453件
その他	325件	256件	474件	1,055件
計	2,909件	1,089件	2,351件	6,349件

※(前年度) 4,014件

(2) 個別相談以外の活動

活動内容	狭山中学校区	第三中学校区	南中学校区	合計件数
開発した新たなサービス	3件	3件	5件	11件
既存の公的サービス等への紹介	8件	7件	4件	19件
その他(各種団体等への情報提供)	0件	0件	0件	0件
ケース会議	67回	56回	56回	179回
研修会参加	3回	5回	5回	13回
計	81件(回)	71件(回)	70件(回)	222件(回)

※(前年度) 136件(回)

【6】生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）

生活支援・介護予防サービスの創出に向けて、資源開発や関係者のネットワークの構築に向けたコーディネートを行い、地縁組織等の多様な主体への協力を働きかけ、定期的な情報共有を図る協議体において連携、協働による取組みを推進した。

（1）会議関係

- ・大阪狭山市高齢介護グループとの会議に参加
- ・地域で生活支援を検討する会議に参加
- ・モデル実施する「地域の話し合いの場」に参加
- ・自立支援型地域ケア会議に参加
- ・その他、各関係会議に参加

（2）ネットワーク機能の構築

- ・大阪狭山市介護予防・日常生活支援総合事業に係る地域づくり協議体への運営支援

会議	開催日	会議内容
第1回	令和4年 7月6日(水)	介護予防・日常生活支援総合事業と協議体について、「いきがい・助け合いサミットin東京」の参加について、その他
第2回	令和4年 10月21日(金)	「いきがい・助け合いサミットin東京」参加者からの報告、地域資源マップの発行に向けて、その他
第3回	令和4年 12月13日(火)	地域資源マップについて、参画団体の活動・取り組みについての紹介、その他

- ・各種ネットワークづくり

（3）調査・研究

- ・小地域ネットワーク活動、コミュニティカフェ、認知症カフェ等について情報収集

（4）資源開発

- ・地域ケア会議、地域福祉活動計画、地区福祉委員会における課題の把握
- ・買い物ツアーのコーディネート
- ・協議体で発行する大阪狭山市地域資源マップ「安心・安全！！高齢者お役立ちガイド」の作成協力

（5）啓発

- ・サロン活動等の地域の集まりにおいて、事業の説明や啓発を行った。

（6）研修関係

- ・地域づくり協議体参画団体向け研修会／「いきがい・助け合いサミットin東京」へのオンライン視聴
- ・各種研修会（オンライン参加を含む）への参加

【7】重層的支援体制整備事業

相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、課題が複雑、複合化しているなかで、関係機関がともに受け止め、協働して適切な支援につなげる体制の構築を行った。

(1) 多機関協働事業

複雑化、複合化した事例の調整を行い、支援関係機関の役割分担や支援の方向性を定めるとともに、チーム支援のためのネットワークづくりを行った。

① 支援会議（ケース検討支援会議）

出席者：自治会、訪問介護事業所、訪問看護事業所、障がい者・就業生業生活支援センター、生活介護事業所、医療機関、大阪狭山市高齢介護グループ、福祉グループ、地域包括支援センター、基幹相談支援センター、コミュニティソーシャルワーカー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実施回数(回)	1	2	3	1	2	4
(前年度)	0	2	2	2	0	0

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数(回)	1	0	2	2	2	2	22
(前年度)	0	2	0	1	0	2	11

② 地域、社会資源への働きかけ

警察署、公民館、コンビニ、スーパー、自治会、地区福祉委員会、当事者家族の会等との連携を図った。

(2) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

必要な支援が届いていない人に支援を届け、継続的な関わりを持つため本人と直接対面し、信頼関係の構築を図り、支援の経過を確認しつつ、フォローアップを行った。

○相談対象者 (単位：人)

区分	人数	(前年度)
高齢者	39	36
障がい者	47	27
生活困窮者	4	4
子ども	0	0
計	90	67

○対応ケースの主たる内容

(単位：件)

区 分	件数	(前年度)
病気・けが	63	58
障がい	51	24
メンタルヘルス	59	60
経済的困窮	4	4
就労の問題	28	11
家族関係	27	48
社会的孤立	15	11
介護	23	4
ドメスティックバイオレンス	16	17
その他	46	24
計	332	261

○自宅等への訪問

(単位：件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実施回数(回)	3	8	5	3	3	3
(前年度)	0	3	9	9	10	6

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
実施回数(回)	2	1	3	2	2	1	36
(前年度)	6	10	9	4	8	6	80

※コロナ禍のため電話、Zoom等も活用

(3) 参加支援事業

利用者のニーズや課題などを把握し、本人と支援メニューのマッチングや本人の状態や希望に沿った支援が実施できているかなどフォローアップを行った。

○就労への支援、フォローアップ、協力要請など (単位：件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実施回数(回)	0	1	0	0	0	1
(前年度)	0	2	2	2	1	0

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
実施回数(回)	0	0	1	0	0	2	5
(前年度)	0	1	1	1	0	0	10

(4) その他

○各種研修会（オンライン）への参加

- ・重層的支援体制整備事業研修会【厚生労働省・大阪府】

日時：令和4年 7月25日（月）

11月 1日（火）

令和5年 1月17日（火）

3月17日（金）

- ・河南ブロック包括的支援研修会【大阪府】

日時：令和4年11月 8日（火）

- ・ひきこもり支援プラットフォーム研修会【厚生労働省・大阪府】

日時：令和4年 6月21日（火）

- ・精神保健医療ネットワーク研修会【大阪府・富田林保健所】

日時：令和4年10月21日（金）

- ・多機関協働によるヤングケアラー支援について【大阪府】

日時：令和4年10月31日（月）

【8】福祉センター事業（指定管理者）

ウイズコロナが提唱されている中で、高齢者、障がい者が安心して利用することのできる、地域に開かれた施設を目指して、施設の環境整備と各事業の充実や新たなプログラムの実施に取り組んだ。

特に、利用者の健康や生きがいへの思いを理解し、いきいきと過ごせる時間、居場所づくりを大切に考えたサービスを行うよう心がけた。

老人福祉センターでは、祝日を除く第4・5日曜日、第2・4土曜日を開館する他、公衆Wi-Fiスポットの利用を進めるなど、利用者の利便性、満足度の向上に努めるとともに、玄関に地域活動支援センター利用者の皆さんの協力を得て、季節ごとのディスプレイを製作し設置するほか、グリーンカーテン設置も行った。

施設の管理においては、環境マネジメントシステムであるエコアクション21を引き続き推進し、利用者に節電、節水などの啓発を行い、環境に配慮した施設運営を行った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年7月28日～8月27日の間は臨時休館とし、その間に、改修工事を実施した。それ以外の期間も三密対策、消毒等を行い、状況に応じて利用制限を行うなどの対応を行った。

(1) 大阪狭山市立老人福祉センター「さやま荘」

利用者がより利用しやすく、安心して充実した時間を過ごすことができる施設を目指し、適切な施設管理を行うとともに様々な事業に取り組んだ。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年7月28日～8月27日は、臨時休館とした（8月1日～8月27日はお風呂も休業）が、利用者とのつながりを保つため、さやま荘通信を3回発行するなどの取り組みを行った。

そのほか、市内浴場施設「虹の湯大阪狭山店」の協力で、割引入浴を引き続き行っていただくことで、利用者の衛生面の維持も図った。

①利用状況 (単位：人)

区 分		人数	(前年度)
個 人	男 性	24,310	13,786
	女 性	18,166	10,322
団 体		5,007	2,023
計		47,483	26,131

※新型コロナウイルス感染症拡大防止及びさやま荘の一部改修工事のため、令和4年7月28日～8月27日まで臨時休館としたが、お風呂のみ利用可（7月28日～31日）とするとともに開館中においても、各部屋定員の人数制限の対応を行った。

②お風呂利用者数 (単位：人)

	人数	(前年度)
延人数	12,853	11,863

※新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため人数・時間制限を行いながら実施した。また、改修工事期間（8月1日～27日）中は、お風呂の利用を中止した。

期 間	回 数 (1日あたり)	時 間 (1回あたり)	定 員 (1回あたり)
令和4年 4月 1日～令和5年 3月31日	5回	45分	男女8名

※令和4年度、「虹の湯」にて会員証を提示して利用した人数
延べ人数：2,181人

③血圧測定利用者数 (単位：人)

区 分	人数	(前年度)
男 性	28	1
女 性	46	6
計	74	7

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月は中止。

④さやま荘クラブの活動状況

[1]クラブ活動日程及び会員数 (単位：人)

クラブ名	活 動 日	会員数	クラブ名	活 動 日	会員数
俳 句	第1・3火曜日	4	カラオケ1	第2・4木曜日	27
手 芸	第1～3月曜日	17	カラオケ2	第1・3木曜日	15

茶 道	第1・3木曜日	8	カラオケ3	第2・4金曜日	24
園 芸	第2・4火曜日	5	パソコン	第1・3木曜日	12
新 操	第2・4月曜日	7	社交ダンス	第1~4月曜日	13
書 道	第2・4火曜日	16	フラダンス	第2・4水曜日	16
マジック	第1・3月曜日	9	英会話	第1~4金曜日	19
麻雀	休館日を除く毎日	61	和太鼓	第1・3土曜日	11
太極拳	第2・4水曜日	12	漢の料理	第2月曜日・第4木曜日	15
将 棋	休館日を除く毎日	28	卓 球	月・水・金曜日	62
囲 碁	休館日を除く毎日	41	健康体操	第1・3月曜日	12
バンパー	休館日を除く毎日	41	気功体操	第2・4月曜日	28
ゲートボール	火・木・土曜日	6			
計				25クラブ	509

※(前年度) 25クラブ 552人

[2]年間参加者数 (単位：人)

	人数	：	(前年度)
延人数	6,903	：	2,617

⑤風呂の日

毎月26日を「風呂の日」と定め、入浴料を無料としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

⑥映画会 (毎月 第1水曜日)

(単位：人)

区 分	人数	：	(前年度)
参加者数	131	：	24

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月は中止。

⑦青春の思い出を歌う会 (偶数月 第1日曜日)

(単位：人)

区 分	人数	：	(前年度)
参加者数	152	：	中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月、8月は中止。

⑧落語会（年3回）

（単位：人）

区 分	人数	（前年度）
参加者数	28	中止

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月は中止。

⑨エンジョイレク（月2回） 1グループ

（単位：人）

区 分	人数	（前年度）
延べ参加者数	258	96

⑩エンジョイプラス（月2回） 3グループ

（単位：人）

区 分	人数	（前年度）
延べ参加者数	793	290

⑪エンジョイトレーニング（月2回） 2グループ

（単位：人）

区 分	人数	（前年度）
延べ参加者数	264	106

⑫レッツリズムエクササイズ（令和3年度に中止した4回の振替）

（単位：人）

区 分	人数	（前年度）
延べ参加者数	42	86

⑬その他の取り組み

[1]緑化活動の推進（グリーンカーテンの設置・季節毎の草花の植栽）

※前年度も実施

[2]福祉センターだより 第13号の発行（令和4年10月1日）

※（前年度） 1回発行

[3]さやま荘通信の発行

第5号…令和4年 8月

第6号…令和4年12月

第7号…令和5年 3月

※（前年度） 3回発行

[4]各種講座の開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

[5]夏季期間中（7～8月）における開館時間延長

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。

[6]職場体験学習受け入れ

※今年度は希望なし。

[7]福祉センター見学会受け入れ

目的：市民団体などの福祉センター見学を受け入れ、施設の役割、目的、事業内容などについて説明を行った。

実施日：令和4年6月7日(火)

場所：さやま荘

団体数：1団体（西小学校3年生）73名

実施日：令和4年10月7日(金)

場所：さやま荘・さつき荘

団体数：1団体（第18期 まちづくり大学）15名

※(前年度) 1団体

[8]さやま荘クラブ・同好会体験見学会の開催

コロナ渦までは、さやま荘クラブの活動を知ってもらい、クラブ活動の参加を促し、新たなさやま荘利用者を増やすことを目指すために実施していたが、今年度は一部のクラブのみ福祉センターまつり2022の事業の一環で実施。

実施日：令和4年12月14日(水)～15日(木)

参加者：16名（バンパー9人、茶道4人、卓球3人、囲碁0人、将棋0人、健康麻雀0人）

※（前年度）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。

[9]アニバーサリーサービスの実施

健康と長寿を祝い、利用者の誕生月にプレゼント（一年毎に趣向を凝らして用意）を配布しました。

（単位：人）

区分	人数	（前年度）
配布数	159	113

[10]ロビーコンサートの実施

さやま荘のパブリックスペースであるロビーにて、来館者が気軽に楽しめるミニコンサートを実施した。

○クリスマスロビーコンサート(ハンドベル演奏)

実施日：令和4年12月20日(火)

参加者：43名

○ロビーコンサート(生演奏・ダンス)

実施日：令和5年3月13日(月)

参加者：62名

※(前年度)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。

[11]公衆Wi-Fiスポットの利用推進

ロビー付近でWi-Fi対応の端末から、インターネットに接続できるように利用を推進した。

(2) 心身障害者福祉センター及び母子・父子福祉センター「さつき荘」

身体障害者福祉協議会や母子寡婦福祉会と連携し、クラブや会議で利用していただけるよう取り組んだ。

身体障がいのある方が集える場所づくりの支援として、身体障害者福祉協議会主催による「サロンさやま」を開催し、障がい者の交流の場づくりを行った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、貸室については利用人数を制限するなど対策を行った。

①利用状況

(単位：人)

区 分		人数(団体)	(前年度)
心 身 障がい者	男	358	140
	女	799	308
母 子		724	228
団 体		7,419	2,927
計		9,300	3,603

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7月28日～8月26日まで臨時休館とした。また開館中においても、各部屋定員の人数制限を行った。

②さつき荘クラブ活動状況

○クラブ活動日程及び会員数

(単位：人)

クラブ名	活動日	会員数	クラブ名	活動日	会員数
絵手紙	第3木曜日	8	カラオケ	第2・4木曜日	5
リズム体操	第1・2・3土曜日	21	書道	第2・4火曜日	5
計				4クラブ	39

※(前年度) 4クラブ 32人

③ひとり親家庭相談(寡婦含む)

ひとり親家庭の生活・自立に関する相談や子どもの養育・教育に関する相談に応じ、必要な情報提供や適切な助言及び援助を行い、社会的・経済的に不安定なひとり親家庭の生活安定を図るための相談日を設けた。

相談日時：第1・3土曜日 午前10時～12時

延べ相談件数：0件 ※(前年度) 延べ相談件数：0件

④心身障がい者相談

心身障がい者(児)の生活・医療に関する相談や、手帳の申請・変更のほか、年金・身上相談等の相談に応じ、必要な情報提供や適切な助言及び援助を行うための相談日を設けた。

相談日時：身体障がい者相談 第2金曜日 午後1時～4時
知的障がい者相談 第3土曜日 午後1時～2時
延べ相談件数：0件 ※(前年度) 延べ相談件数：1件

⑤身体障がい者サロン「サロンさやま」(奇数月第3土曜日)

身体障がいのある方のふれあい交流スペースとして、身体障害者福祉協議会主催の「サロンさやま」を開設した。

(単位：人)

	人数	：	(前年度)
参加者数	86	：	12

(3) 障害者地域活動支援センター事業

知的障がいや身体障がいのある方の日中活動の場として、制作活動や創作活動、作業活動(プラスチック製品の袋詰め等)・カフェ活動・各種クラブ活動等を行い、心身ともに充実した時間が過ごせるように取り組んだ。

今年度は、新型コロナウイルスの感染対策をとりながら、できる限り多くの活動ができるよう分散して活動を行うなど、利用者みなさまが楽しめるよう事業に取り組んだ。

①開所日数及びメニュー別延べ利用者人数

(単位：人)

	日数	：	(前年度)
開所日数(日)	238	：	240

	人数	：	(前年度)
創作活動(貼り絵・園芸他)	1,627	：	1,709
制作活動(共同制作・押し絵他)	618	：	565
作業活動(製品組立他)	701	：	531
計	2,946	：	2,805

②主な行事

行事名	実施日	実施内容	参加者数
七夕まつり	7月1日	各部屋で笹などに飾り付け等	20名
夏祭り	8月5日	パン取りゲーム、ヨーヨー釣り、もぐらたたき、ワニワニパニック等の実施	18名
健康診断	9月29日	さやま荘で健康診断の実施	12名

ハロウィンおたのしみ会	10月28日	ハロウィン仮装大会等	16名
福祉センターまつり	12月15日	和太鼓披露	5名
クリスマス会	12月16日	ハンドベル、マジックショー、茶話会等の実施	23名
新年会	1月6日	和太鼓クラブの演奏、ボッチャ大会、茶話会等	20名
野外レクリエーション【1】	1月19日	住吉大社へ参拝	8名
節分	2月3日	各部屋でまめまき等	17名
野外レクリエーション【2】	2月22日	住吉大社へ参拝	10名
第26回 大阪狭山作陶展	2月25日 26日	陶芸クラブのメンバーの作品展示	6名
ひな祭り	3月3日	各部屋で茶話会	18名
障がい者スポーツ振興事業 (スポーツ教室)	3月9日	市主催のスポーツ教室(レクリエーション)に参加	8名

③クラブ活動別参加者延べ人数

(単位：人)

	人数	(前年度)
パソコン	7	2
和太鼓	77	20
書道	45	10
陶芸	43	13
クッキング	6	6
計	178	51

(4) 「福祉センターまつり2022」の開催

例年、公民館、図書館、保健センター等と合同で開催していた「はばたきフェスタ」がコロナ禍で中止になったことから、福祉センター(さやま荘、さつき荘、障害者地域活動支援センター)を利用する団体や利用者のみで、日頃の活動成果の発表や体験、交流の場として「福祉センターまつり2022」を開催した。

開催期間：令和4年12月14日(水)～15日(木)

来館者数：14日…さやま荘262人、さつき荘57人

15日…さやま荘237人、さつき荘5人

内 容：

○舞台発表会【大広間】(14日・15日)

- ・さやま荘クラブ
- ・障害者地域活動支援センター
- ・福祉団体(あんずの会)
- ・さやま荘利用者

○展示会【多目的室・ロビー】(14日・15日)

- ・さやま荘クラブ(手芸、書道、俳句、パソコン)

- 体験会【各部屋】（14日・15日）
 - ・さやま荘クラブ（囲碁、将棋、健康麻雀、茶道、バンパー、卓球）
- 競技大会【囲碁室】（14日）
 - ・さやま荘クラブ（囲碁）
- 野菜販売【さつき荘ロビー】（14日）
 - ・さやま荘クラブ（園芸）
 - ・障害者地域活動支援センター

【9】地域包括支援センター事業

（1）総合相談支援

本人、家族、近隣の住民、地域のネットワークから相談を受け、情報提供、関係機関の紹介等を行う他、相談内容によっては、本人や家族、関係者に状況把握を行い、専門的・継続的な関与や緊急の対応も行った。「介護なんでも電話相談」を月曜から金曜の9時～17時30分まで実施した。

また、ニュータウンサテライトで、健康いきいき相談会を毎月1回実施した。

①相談件数

（単位：件）

区 分	拠点	初回	継続	計		(前年度)	
				拠点計	全体計	拠点計	全体計
来 所	南館	167	336	503	1,008	517	872
	サテライト	133	372	505		355	
出 張	南館	2	38	40	41	36	39
	サテライト	0	1	1		3	
訪 問	南館	32	565	597	857	767	970
	サテライト	8	252	260		203	
電 話	南館	415	4,018	4,433	7,160	5,406	7,268
	サテライト	63	2,664	2,727		1,862	
電 話 (介護なんでも相談)	南館	45	23	68	68	78	78
	サテライト	0	0	0		0	
電 話 (さやりんおれんじダイヤル)	南館	2	4	6	6	4	4
	サテライト	0	0	0		0	
文 書	南館	12	201	213	294	316	381
	サテライト	1	80	81		65	
その他（メール・FAX等）	南館	0	99	99	186	169	223
	サテライト	1	86	87		54	
計	南館	675	5,284	5,959	9,620	7,293	9,835
	サテライト	206	3,455	3,661		2,542	

②相談者の区分

(単位：件)

区 分	拠点	初回	継続	計		(前年度)	
				拠点計	全体計	拠点計	全体計
本 人	南館	121	1,023	1,144	1,876	1,362	1,940
	サテライト	67	665	732		578	
家 族	南館	235	1,132	1,367	2,310	1,376	2,018
	サテライト	76	867	943		642	
介護支援専門員	南館	147	1,101	1,248	1,877	1,684	2,081
	サテライト	10	619	629		397	
介護サービス事業所職員	南館	15	347	362	546	457	624
	サテライト	1	183	184		167	
行政関係者	南館	60	755	815	1,181	1,154	1,417
	サテライト	11	355	366		263	
医療機関	南館	33	364	397	614	510	689
	サテライト	6	211	217		179	
関係機関	南館	42	471	513	908	526	738
	サテライト	15	380	395		212	
認知症疾患医療センター	南館	0	0	0	0	0	1
	サテライト	0	0	0		1	
民生委員	南館	5	30	35	171	74	140
	サテライト	16	120	136		66	
近隣・知人	南館	15	53	68	124	130	166
	サテライト	4	52	56		36	
後見人	南館	0	0	0	1	9	9
	サテライト	0	1	1		0	
その他	南館	2	8	10	12	11	12
	サテライト	0	2	2		1	
計	南館	675	5,284	5,959	9,620	7,293	9,835
	サテライト	206	3,455	3,661		2,542	

③相談内容(延べ数)

(単位：件)

区 分	拠点	初回	継続	計		(前年度)	
				拠点計	全体計	拠点計	全体計
介護相談 (介護方法等)	南館	55	483	538	656	82	120
	サテライト	13	105	118		38	
介護保険サービス	南館	530	3,355	3,885	6,165	4,762	6,412
	サテライト	155	2,125	2,280		1,650	
介護保険の地域支援事業	南館	3	12	15	21	19	23
	サテライト	2	4	6		4	
その他 保健・医療・福祉サービス	南館	33	507	540	1,169	969	1,346
	サテライト	14	615	629		377	
インフォーマルサービス	南館	85	1,330	1,415	2,373	1,229	1,805
	サテライト	31	927	958		576	
認知症予防	南館	16	24	40	165	65	131
	サテライト	5	120	125		66	
認知症(対応、治療)	南館	19	162	181	617	399	677
	サテライト	13	423	436		278	
ケアマネジメント等	南館	7	167	174	570	301	434
	サテライト	1	395	396		133	
虐待・権利擁護	南館	18	311	329	429	565	615
	サテライト	9	91	100		50	
生活上の相談	南館	0	0	0	0	8	8
	サテライト	0	0	0		0	
その他	南館	0	0	0	0	0	0
	サテライト	0	0	0		0	
認知症地域支援 推進員活動	南館	1	19	20	171	102	254
	サテライト	3	148	151		152	
認知症初期集中支援事業	南館	1	66	67	67	85	85
	サテライト	0	0	0		0	
計	南館	768	6,436	7,204	12,403	8,586	11,910
	サテライト	246	4,953	5,199		3,324	

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

関係機関（銀行、郵便局、警察、消防本部、保健所、リーガルサポート、弁護士会ひまわり、医療機関、地域のインフォーマルサービス（スーパー等）との連携体制づくりや介護支援専門員に対する支援を行った。
 (主な内容)

- ①地域ケア会議(事例検討型、自立支援型)の開催
- ②介護保険事業所連絡会のケアマネ部会の事務局運営
- ③市内のケアマネ事業所に情報提供や研修の実施
- ④ケアマネジャーへの個別指導や相談対応
- ⑤提供票交換会の開催
- ⑥介護保険事業所や施設の情報の配信

(単位：件)

区 分		計			(前年度)		
		南館	サテライト	全体計	南館	サテライト	全体計
支 援 数		366	396	762	521	133	654
内 訳	体制構築	192	0	192	220	0	220
	個別支援	174	396	570	301	133	434

(3) 権利擁護

認知症等で金銭的な管理等が困難な高齢者に対し、成年後見制度や日常生活自立支援事業等の活用の支援を行うと共に、南館内の基幹相談支援センター、権利擁護センターと共催で、専門職のための利用促進に向けた研修を行った。

ホームページや高齢者虐待防止パンフレット、出前講座を通じ、虐待についての認識を高めると共に、虐待事例を把握した場合は、市と連携を図り対応した。

そのほか、消費者被害や詐欺の予防のために、市の担当者や消費生活センターとも情報交換を行い、情報の共有を図った。

①対応件数

(単位：件)

区 分	拠点	計	(前年度)
ケース数	南館	86(18)	107(32)
	サテライト	24(9)	5(2)
対応延べ件数	南館	329	571
	サテライト	100	50

※() は、新規ケース数(内数)

②対応ケースの主たる内容

(単位：件)

区 分		拠点	計	(前年度)	
虐待	身体的虐待	南館	33(5)	47(8)	
		サテライト	0(0)	1(0)	
	経済的虐待	南館	0(0)	7(2)	
		サテライト	0(0)	0(0)	
	心理的虐待	南館	7(0)	6(3)	
		サテライト	6(1)	1(0)	
	性的虐待	南館	0(0)	0(0)	
		サテライト	0(0)	0(0)	
	介護放棄	南館	1(0)	8(1)	
		サテライト	0(0)	0(0)	
	成年後見制度		南館	38(10)	34(17)
			サテライト	17(7)	3(2)
日常生活自立支援事業		南館	5(1)	4(0)	
		サテライト	0(0)	0(0)	
消費者被害		南館	2(1)	1(1)	
		サテライト	1(1)	0(0)	

※() は、新規ケース数(内数)

(4) 介護予防ケアマネジメント

要支援1・2の認定を受けた予防給付対象者に対して介護予防支援を行い、基本チェックリストに該当し、且つ、訪問介護や通所介護を希望した、支援や介護が必要となる恐れの高い事業対象者には、予防ケアマネジメントを行った。それぞれの支援については、地域包括支援センターだけではなく、居宅介護支援事業所にも委託を行った。

①介護予防給付

(単位：件)

		計	(前年度)
請求件数計		6,034	5,816
内訳	地域包括作成	1,881	1,772
	委託事業所作成	4,153	4,044

②介護予防ケアマネジメント(総合事業)

(単位：件)

		計	(前年度)
請求件数計		5,506 (1,017)	5,882 (1,146)
内訳	地域包括作成	2,532 (673)	2,602 (777)
	委託事業所作成	2,974 (344)	3,280 (369)

※ () 内は総数中緩和型の件数

(5) 会議関係

包括的・継続的ケアマネジメント支援を行うために、各種会議を開催すると共に、行政機関や関係機関が開催する会議に出席した。

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため会議等は、中止や延期となることもあったが、可能な範囲で、オンラインも活用した。

区 分	計	(前年度)
開催回数(回)	166	193
参加人数(人)	1,786	1,872
参加事業所数	244事業所	70事業所

(6) 普及・啓発活動

地域や関係団体、事業所に対して、地域包括支援センターや介護保険、介護予防、虐待、権利擁護の普及、啓発を行った。又、認知症の理解促進に向け、大人だけでなく小学生に対してもサポーター養成講座を実施。

区 分	計	(前年度)
開催回数(団体)	27	24
参加人数(人)	897	1,138

(7) その他

大阪府介護者(家族)の会に参加する他、介護者家族の会の後方支援を行った。その他、市民に対してアルツハイマー月間、詐欺被害、介護予防の啓発を行った。

区 分	計	(前年度)
開催回数(団体)	32	19
参加人数(人)	1,180	632

(8) 認知症総合支援事業

①認知症地域支援・ケア向上事業

認知症の人やその家族を支援し、介護サービス及び地域の関係機関の連携を図る認知症地域支援推進員を配置し、個別相談や周知活動を通じ、市内における認知症ケア体制の構築を図った。

○個別相談（再掲）

内 容	計			(前年度)
	新規	継続	計	計
延べ相談者数(名)	4	7	11	35
延べ相談件数(件)	85	86	171	254

○認知症カフェ（愛称 さやりん おれんじカフェ）開催支援

内 容：電話による実施状況の把握
広報チラシの配布
新規開設に向けた働きかけ

○認知症サポーター養成講座（認知症安心声かけ訓練含む）

対 象：地域住民、小学生・学校教員、病院・看護学校
内 容：・認知症についての基礎知識、認知症の人・家族の気持ち
・認知症の人への接し方など
開催回数：延べ6回 ※(前年度)開催回数：延べ10回
参加者：延べ324人 ※(前年度)参加者：延べ607人

○認知症啓発事業

- ・アルツハイマー月間啓発（令和3年度から実施）
市役所（9月1日から30日）、図書館（9月1日から29日）で展示、チラシ配布。
公民館では、展示、チラシ配布の他、個別相談会（9月21日相談3件、22日相談4件）も実施
- ・RUN伴 ～たすきをつなぐ列島リレー～
新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、声のたすきリレーとして、当事者や支援者の声を集める方法で参画した。

○おれんじパートナー事業

おれんじパートナー活躍の場の整備として、新たにチームオレンジに関する取り組みについて協議を行った。

○認知症ケアパス配布

認知症の症状の進行に応じて、いつ、どこで、どのような医療や介護サービスなどが利用できるのかまとめた冊子（認知症ケアパス）の全戸配付を行った。

②認知症初期集中支援事業

認知症の人やその家族からの相談を受け、認知症サポート医と連携を図り、認知症の早期診断、早期対応に向けた支援を行った。

	今年度	(前年度)
初回相談件数 (件)	1	1
支援対象者数 (名)	1	2
チーム員会議数 (回)	1	4

【10】障がい者基幹相談支援センター事業

障がいの種別を問わず、大阪狭山市に居住する障がい者や家族等からの相談に応じるとともに、基幹相談として地域における総合的かつ専門的な相談支援の中核的な役割を担った。

地域自立支援協議会の各部会では、地域の課題について共有した。8050問題をはじめ、ひきこもり支援等、障がいだけでなく、高齢や医療など、分野を超えた連携、協働が必要な事例が増加する現状に対応し、相談支援専門員とケアマネジャー、医療機関の相談員が参加する合同研修会を実施した。

また、障がい者の声が反映される地域自立支援協議会を目指し、全体会や相談支援部会において、当事者による基調講演の機会を設けた。医療的ケア部会では、医療的ケアが必要な児童の保護者を対象に、インタビュー形式でアンケートを実施し、当事者の生の声を聴取することで、課題の抽出を図った。

○障がい者相談支援事業

①利用者数

(単位：人)

区 分			計	(前年度)
障がい者			121	121
障がい児			56	52
計			177	173
障がい区分 (再掲)	身体障がい	障がい者	10	8
		障がい児	1	0
	重症心身障がい	障がい者	0	0
		障がい児	3	3
	知的障がい	障がい者	25	33
		障がい児	13	15

障がい区分 (再掲)	精神障がい	障がい者	45	41
		障がい児	0	1
	発達障がい	障がい者	9	9
		障がい児	7	3
	高次脳機能障がい	障がい者	2	1
		障がい児	0	0
	その他	障がい者	30	29
		障がい児	32	30

②支援方法 (単位：件)

区 分	計	(昨年度)
訪 問	388	386
来 所	193	271
同 行	109	76
電話等	1,408	1,538
個別支援会議	14	15
関係機関	25	14
その他	25	32
計	2,162	2,332

③支援内容 (単位：件)

区 分	計	(昨年度)
福祉サービスの利用等	888	1,088
障がいや病状の理解	66	148
健康・医療	291	198
不安の解消・情緒安定	612	648
保育・教育	24	24
家族関係・人間関係等	43	28
家計・経済	49	98
生活技術	24	9
就労	130	58
社会参加・余暇活動	10	5

権利擁護	9	16
その他	16	12
計	2,162	2,332

④会議

○地域自立支援協議会全体会 ※（前年度）書面決議 回答者：22人

実施日：令和4年5月24日（火）参加者：22人

場 所：市役所 第1会議室

内 容：

1. 大阪狭山市第6期障がい福祉計画、第2期障がい児福祉計画について
2. 大阪狭山市地域自立支援協議会 体系図案について
3. 令和3年度の取り組み報告及び令和4年度取り組み案について
4. 基調講演「真っ暗なトンネル」
広汎性発達障がい、強迫性障がいの30代男性による体験に基づく講演

○地域自立支援協議会定例会 ※（前年度）4回開催 延べ参加者 46人

<第1回>

実施日：令和4年4月19日（火） 参加者：14人

場 所：市役所別館 第4会議室

内 容：

1. 令和3年度 大阪狭山市地域自立支援協議会の取り組みについての報告
2. 令和4年度 大阪狭山市地域自立支援協議会の取り組み案

<第2回>

実施日：令和4年7月26日（火） 参加者：13人

場 所：市役所 防災対策室

内 容：

1. 令和4年度全体会の報告
2. 専門部会 進捗状況の報告

<第3回>

実施日：令和4年10月18日（火） 参加者：15人

場 所：市役所別館 第4会議室

内 容：

1. 専門部会 進捗状況の報告
2. 大阪狭山市商工会について

<第4回>

実施日：令和5年1月24日（火） 参加者：13人

場 所：市役所別館 第4会議室

内 容：

1. 専門部会 進捗状況の報告
2. 家族支援等についてのグループワーク

○地域自立支援協議会部会・ワーキング

＜相談支援部会＞ 6回開催 ※（前年度）5回開催
実施日：令和4年 5月20日（金）、7月15日（金）
9月16日（金）、11月18日（金）
令和5年 1月20日（金）、3月17日（金）

＜地域包括ケアシステム部会＞ 6回開催 ※（前年度）3回開催
実施日：令和4年 4月25日（月）、6月27日（月）
8月22日（月）、10月24日（月）
12月26日（月）
令和5年 2月27日（月）

＜こどもむすぶ会＞ 5回開催 ※（前年度）5回開催
実施日：令和4年 5月25日（水）、7月13日（水）
9月28日（水）
令和5年 1月25日（水）、3月22日（水）

＜日中活動事業所部会＞ 5回開催 ※（前年度）3回開催
実施日：令和4年 5月26日（木）、9月22日（木）
11月24日（木）
令和5年 1月26日（木）、3月23日（木）

＜就労支援部会＞ 4回開催 ※（前年度）3回開催
（南河内南就業・生活支援ネットワーク会議）
実施日：令和4年 5月25日（水）、9月28日（水）
12月21日（水）、
令和5年 3月15日（水）

＜医療的ケア部会＞ 6回開催 ※（前年度）8回開催
（医療的ケア児者に対応した地域包括ケアシステム検討部会）
実施日：令和4年 4月21日（木）、6月16日（木）
8月18日（木）、10月20日（木）
12月15日（木）
令和5年 2月16日（木）

⑤その他部会活動

＜事業所見学会＞（日中活動事業所部会）3回開催 ※（前年度）1回開催
実施日：（第1回）令和4年 7月11日（月）～8月12日（金）
（第2回）令和4年11月1日（火）～12月23日（金）
（第3回）令和5年 2月1日（水）～3月31日（金）

場 所：市内18カ所の各事業所

内 容：各事業所で、各事業所の特徴や取り組みについての説明

<研修会> (地域包括ケアシステム部会)
 実施日：令和5年3月3日(金)
 場 所：市役所南館 講堂
 相談支援専門員・ケアマネジャー合同研修会
 内 容：1部：堺市立健康福祉プラザより事業紹介
 2部：重層的支援体制整備事業について
 重層的支援体制整備事業の事例紹介
 8050問題について事例検討
 参加者：39名

<研修会> (こどもむすぶ会)
 実施日：令和4年12月7日(水)
 場 所：大阪狭山市コミュニティーセンター 音楽室
 内 容：アンガーマネジメントについて
 講 師：大谷 裕美子 氏
 参加者：27名

○指定特定相談支援事業

(単位：件)

区 分	計	(前年度)
新規契約者数	3	1
利用(計画作成)	30	34
継続(モニタリング)	48	56

○指定障害児相談支援事業

(単位：件)

区 分	計	(前年度)
新規契約者数	1	1
利用(計画作成)	13	13
継続(モニタリング)	18	25

○指定一般相談支援事業

区 分	年計
新規契約者数	0
地域定着支援利用	0

※前年度実績なし

区 分	年計
新規契約者数	0
地域定着支援利用	0

※前年度実績なし

【11】生活サポートセンター事業（生活困窮者自立支援事業）

生活に困りごとや不安を抱えている生活困窮者に対して、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行った。

また、住居を喪失した方に一定期間、衣食住等の日常生活に必要な支援を提供する一時生活支援事業の利用に関する手続きの支援や、住居確保給付金の支給に関する相談支援を行った。

家計改善支援事業では、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へつなぐとともに、必要に応じて貸付のあっせん等を行い、早期の生活再生を支援した。

新型コロナウイルス感染症特例貸付利用者に対しては、生活福祉資金貸付担当者と連携を図りつつ、相談支援を行った。

（1）自立相談支援事業

（単位：件）

区 分	計	（前年度）
新規相談受付件数	129	124
プラン作成件数	43	47
就労支援対象者数	8	18
住居確保給付金利用数	8	5
住居確保給付金相談者数	32	35
一時生活支援事業利用数	2	2

（2）家計改善支援事業

（単位：件）

区 分	計	（前年度）
プラン作成件数	12	12

（3）支援調整会議

プラン案を共有した上で適切性を協議し、支援終結時にはプラン（支援）の評価を行った。

また、協議を通して、支援の質を高めるとともに、地域に不足する社会資源について把握し、社会資源の創出に向けた検討を行った。

（単位：件）

区 分	計	（前年度）
開催回数	14	12
案件数（評価ケース含）	54	63
決定・確認数	43	47

※開催回数のうち、2回は一時生活支援事業利用にかかる臨時開催を含む

【12】 就労準備支援センター事業（生活困窮者自立支援事業）

生活リズムが整っていない、また、他者とのコミュニケーションや社会との関わりに不安があり、経済的または社会的、その他の理由により、すぐには就労が難しい人を対象に、「日常生活自立支援」「社会生活自立支援」「就労自立支援」を計画的かつ一貫して実施することにより、一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成や技法、知識の習得等を促した。また、生活サポートセンターや関係機関との連携強化を図った。

①支援者数 （単位：人）

区 分	計	(前年度)
生活困窮者	54	52
生活保護受給者	15	10
計	69	62

②支援プログラム

区 分	計	(前年度)
職業適性検査(GATB等) (回)	3	3
職業興味検査(VRT等) (回)	3	3
職場見学 (回)	0	0
就労体験 (回)	4	0
農業体験 (回)	0	0
ボランティア体験 (回)	0	0
ハローワーク等同行(回)	0	4
他機関講座 (人)	33	2
パソコン講座 (人)	22	34
パソコン講座 (延べ回数)	145	182
求人検索 (人)	10	21
求人検索 (延べ回数)	46	139
応募書類作成 (回)	19	32
面接練習 (回)	5	4
面接同行 (回)	0	0
個別活動 (回)	23	78
定着・見守り支援 (回)	30	8
保護者対応(連絡) (回)	0	2
保護者対応(面談) (回)	0	0
居場所(延べ人数)	37	96
その他	134	139

③就職・就労者数 (単位：人)

区 分	計	(前年度)
正規雇用	2	0
非正規雇用	2	5

④相談件数

区 分	計	(前年度)
実人数(人)	36	32
延べ件数(件)	45	42

⑤就労体験受入事業所開拓数 (単位：社)

区 分	計	(前年度)
雇用あり	0	0
雇用なし	0	0

⑥その他の活動 (単位：人)

行 事 名	実施日	実 施 内 容	参加者数
居場所プロジェクト(11回)	金曜日	勉強会やセミナー、スキルアップのプログラム、交流会等を行った	(再掲) 18
居場所フリー(9回)	火曜日	自分のペースに合わせて過ごしたり、興味にあることに取り組んだ	(再掲) 19

4. その他

【1】地域ふくし協力金（社会福祉協議会会員会費）

社会福祉協議会会員会費を地域ふくし協力金として、地区福祉委員会の協力のもと自主財源の確保に努めた。

市民のみなさまから集められた地域ふくし協力金（社協会員会費）は、貴重な自主財源として地域福祉事業に活用した。

なお、組織構成会員には、社会福祉に関する活動を行う団体、機関、事業者等に幅広く参画をいただき、その中から社会福祉協議会の議決機関である評議員を選出することにより、社会福祉協議会の運営に参画している。

	正 会 員	賛助会員	特別会員	組織構成会員	計
地 区	4,862人	58人	25人	——	4,945人
	4,862,000円	174,000円	125,000円	——	5,161,000円
その他	46人	15人	7人	15団体	68人・15団体
	46,000円	45,000円	35,000円	75,000円	201,000円
計	4,908人	73人	32人	15団体	5,028人・15団体
	4,908,000円	219,000円	160,000円	75,000円	5,362,000円

※(前年度) 5,273人(団体) 5,567,000円

(正 会 員…5,117人 5,117,000円、賛助会員 …75人 225,000円、
特別会員… 32人 160,000円、組織構成会員…13団体 65,000円)

【2】善意銀行事業

市民のみなさまから寄せられた寄付金等を、預託者の意思を十分に配慮、
尊重のうえ、社会福祉活動等に活用した。

(1) 啓発宣伝

「広報おおさかさやま」及び「大阪狭山市社協だより」に掲載

(2) 現金の受入れ・払出し

(単位：円)

預託種別	繰越金	受入れ	払出し	差引残高
社 会 福 祉	23,151,179	505,871	130,916	23,526,134
老 人 福 祉	3,020,698	0	0	3,020,698
身 障 福 祉	2,837,803	0	0	2,837,803
母 子 福 祉	35,252	0	0	35,252
知的障がい福祉	1,228,433	30,000	0	1,258,433
精神障がい福祉	0	0	0	0
計	30,273,365	535,871	130,916	30,678,320

次年度繰越金 30,678,320円

【3】大阪狭山市福祉基金

(1) 運用状況

(単位：円)

科 目	金 額	説 明
1. 【福祉基金積立金】	【100,300,000】	【福祉基金原資】
2. 収益	【2,776,621】	
①前年度繰越金	2,420,674	前年度よりの繰越金
②受取利息	355,947	4年度期中受取利息
3. 支出	【355,947】	
	355,947	小地域ネットワーク事業活動費
4. 繰越金(2-3)	2,420,674	次年度繰越金
計(1+4)	102,720,674	

(2) 貸借対照表 (令和5年3月31日現在)

(単位：円)

借 方	貸 方
預貯金	
(郵便局)	
・通常貯金 371,071	1. 福祉基金積立金 100,300,000
小計① 371,071	2. 次年度繰越金(果実) 2,420,674
(大阪南農協)	
・普通貯金 32,349,603	
・定期貯金 10,000,000	
・定期貯金 10,000,000	
小計② 52,349,603	
(りそな銀行)	
・普通預金 50,000,000	
小計③ 50,000,000	
計(①+②+③) 102,720,674	計 102,720,674

【4】共同募金運動（赤い羽根共同募金）「大阪狭山地区募金会」

「じぶんの町を良くするしくみ」を全国スローガンとして、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができるよう地域福祉の一層の充実を図るため、10月1日～12月31日（全国一斉）にて「共同募金運動（歳末たすけあい募金を含む）」を展開した。

（1）会 議

- ①役員会
- ②監査
- ③共同募金事務説明会
- ④歳末たすけあい募金配分委員会

（2）一般募金

各市町村の募金活動で集められた寄付金は、一旦大阪府共同募金会に集められ、大阪府内の民間福祉施設、福祉団体や社会福祉協議会が行う事業に配分される。

本市においても、募金額の約60%が次年度に配分され、市内の高齢者福祉活動や福祉育成、援助活動など地域福祉活動の貴重な財源として活用した。

○実施期間：令和4年10月1日～11月30日

募金種別	戸 別	学 校	街 頭	法 人
金 額	1,785,977円	155,690円	521,269円	268,600円
協力団体数	59地区	12校	189件	98社
募金種別	バ ッ ジ	職 域	その他	計
金 額	74,000円	88,524円	16,627円	2,910,687円
協力団体数	—	6団体	—	364団体等

※(前年度) 2,963,254円 (398団体等)
 (戸別…1,886,614円(63地区) 学校…140,179円(11校)
 街頭… 456,648円(194件) 法人…274,300円(124社)
 バッジ… 73,000円 職域… 94,627円(6団体)
 その他… 37,886円)

（3）歳末たすけあい募金

募金活動で集まった寄付金は、大阪狭山地区募金会から、市内の地区福祉委員会や福祉施設及び各種団体が行う事業に配分した。

募金額の約34%を地区福祉委員会に、約66%は市内の福祉施設及び各種団体からの申請をに基づき、歳末たすけあい募金配分委員会の審議、承認の後、配分を行った。

○実施期間：令和4年12月1日～12月31日

募金種別	戸別	法人	職域・その他	計
金額	1,342,880円	135,900円	32,504円	1,511,284円
協力団体数	63地区	88社	4件	155団体等

※(前年度) 1,641,397円(155団体等)
(戸別…1,477,271円(63地区) 法人…130,800円(88社)
職域・その他…33,326円(4件))